



23名の出席を得て開催

第2回 支援者交流会



2012年3月10日(土) 10時~12時過ぎ迄、23名の出席を得て開催されました。教室の実践報告をお二人の方からいただき、その後出席者が5つの班に分かれて各自の意見を交換し合いました。

教室実践報告 (Sさん)

①4~5年前より活動しているが、最近学習者の方が帰国され待機中の状態です。対象者が見つければ、スグにでも再開したい気持ちであるとの由。②自分自身の性格・考え方もあるが、「心をひらけば、相手にも伝わる」をモットーにして学習者に接した為、楽しい思い出は数多くあるが、若い記憶等は無い。③最初は文字通り手探りだったが、学習者の関心のあるテーマを選択し、なるべく相手に「間違いは余り気にしないで、話をしてもらおう」事を主眼とした。④日本語の学習は、「読む・書く・聴く・話す等」が大切と考え、「書く事」に関してはテーマを決めて宿題を出し、文章にし

(Tさん)

①火曜日と木曜日の週2回、シンガポールの出身のご夫妻に複数の支援者で対応中であるが、火曜日は実用的(新聞等も利用)・木曜日は段階的(教科書及び副読本等)な学習だと考えている。②語学学習の要諦は、自分自身の経験に照らしてみても次の項目が肝要だと考えている。「Shadowing (真似)・Repeating (真似)・Listening (継続)・Listening (傾聴)」間違いを恐れず、躊躇(ちゆうちゆう)せずに話す事が最重要である。学習者にも実践する様に推奨している。③両支援員共90分を基本としているが、概ね2時間になる。疲れは全く感じない。

Tさんのすすめる4つのこと

- ①Shadowing (真似)
- ②Repeating (繰り返し)
- ③Continuing (継続)
- ④Listening (傾聴)

アドバイス Rings花岡氏

①場所の確保が可能なため1週間に複数回の受講など城陽の学習者は恵まれている。②上位者になると、「語彙(ごい)の壁」がある。新聞の活用は有益である。③支援者は「全員がNative」である意識を持ち、自信をもって対応すれば良い。④支援者交流会の開催頻度をもう少し増やす方がベターでは。⑤「みんなの日本語」は、使用するのが難しいとの話も多い。(著者含め)⑥南部地区での講習会の提案をしてみても。

出席者が5つの班にわかれて各自の意見等を交換し合いました。(約40分間)その又集まり、各班の意見の集約を実施し共通認識としました。

夢気球の活動を 知っててもらおう

さんさんフェスタ初出展

1階市民広場では夢気球の紹介と日本語教室の状況を大きな写真で示すポスターを展示しました。

3階コミセン会議室では独立行政法人 国際協力機構(JICA)と協力して「世界の民族衣装展」を開催しました。



1階展示



3階展示 世界の民族衣装

実際に着て、自由に写真撮影ができるようにしたので子供から大人まで多くの人が楽しめました。

国際サロン開催

は、気軽に雰囲気の中で国際色豊かな話題を提議しながら、大いに雑談、懇談、情報交換(?)しようという主旨で、毎回広報(こうほう)24日(火) JIEAにて、10時~第3回国際サロン「ドイツと日本の生活」2012年2月28日(火) JIEAにて、10時~第4回国際サロン計画中です。

「香港の紹介」2011年12月8日(木) JIEAにて、10時~第2回国際サロンの「姉妹都市、慶山市の紹介」(慶山市とが姉妹都市提携をして今年20周年にあたりまして)2012年1月24日(火) JIEAにて、10時~第3回国際サロン「ドイツと日本の生活」2012年2月28日(火) JIEAにて、10時~第4回国際サロン計画中です。

お知らせ

●紹介

京都府国際センターでは月に一回、日本語支援ボランティア研修の案内や、各種イベントの案内などがメールで配信されています。

●役員募集

現役員の任期満了に伴い、以下の要綱で夢気球運営委員会の役員を募集します。応募に使用する連絡は、杉島凱夫(事務局長)、片岡敬愛(庶務チーフ)のいずれかにお願いいたします。

■募集人数・9名

■募集期間・2012年4月30日まで

■役員の正式決定・第2回総会(2012年5月下旬の予定)

■任期・第2回総会開催日以降2013年3月31日まで



発行にあたって

この「夢気球だより」を発行することで、運営委員会の動きやメンバーの皆さんがそれぞれの活動内容を伝えて、夢気球のメンバー全員が活動の目的や意義を共有できるようにしたいと思っています。情報共有することにより、夢気球の活動に対するメンバー全員の理解と意識の向上を図る事ができると思っています。この「夢気球だより」を通じて、日頃の活動における問題解決や改善のアドバイスが「夢気球だより」を通じて提供できれば良いと思います。

待合室

皆さんも、データのバックアップだけはまめにやった方がいいですよ。やっつと、PCが使える状態まで復旧しました。近所の方の手助けで解決したのですが、いやあ近くにこんなすごい人が居たのだと今更ながら驚いています。使った部品は全て中古品ですが、元通り動作するようになっただけではない、性能もUPしました。ただ、今回の反省から、データを定期的にはバックアップするための外付けHDD(ハードディスク)は、頑張って大容量(1TB)の新品を買いました。これを使って定期的に(ワイフのPCも含めて)データを保護することになっています。

セミナーに参加しました

以下のセミナーに多くの方が出席されました。

●多文化共生コーデインネットワーク研修第1回「多文化共生概論」2011年11月30日(水)、13時~16時(京都府国際センター) 第2回「コミュニケーション支援」あつてはならない違いをなくす! 2011年12月9日(金)、13時~16時(京都府国際センター) 第3回「外国にルーツを持つ子供の教育」2011年12月14日(水)、13時~16時(京都府国際センター) 第4回「外国人住民の自立と社会参画」違いを尊重する社会作り」2011年12月16日(金)、13時~16時(京都府国際センター)

●コデインネットワーク研修2012年1月14日(土)、15日(日)、10時~15時(京都府国際センター)

●災害多言語支援センター設置・運営訓練2012年1月21日(土)、11時~16時30分(京都テルサ東館)

●日本語指導研修(会話力をつけるための効果的な練習とその方法)2012年2月25日(土)、13時30分~16時(京都府国際センター)

運営委員会

夢気球役員9名とJIEA大久保さんの合計10名で、ほぼ毎週(金曜日)に2時間半程度、運営委員会を開催しています。



この委員会で夢気球のすべての活動について話し合っています。画し実行に移しているわけですが、各ステップで、ある程度分業が進みつつあります。例えば、さんさんフェスタは「広報」の皆さんが主体になって進めました。支援者交流会については、「庶務」の皆さんが主体になって開催しています。

「務」の皆さんが主体になって開催しています。ただ、どの行事についても実行に移すときは全員で準備し、全員で作業しています。夢気球発足当時から、極めて和気あいあいとした運営が、かつしつかりと運営されています。決して自己満足に陥らないように日々気をつけています。ご意見やお気づきの点があれば、「杉島」「片岡」までご連絡ください。運営委員会が検討の上、その結果については必ず返事を差し上げます。